

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年07月21日

計画の名称	四万十市災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～平成33年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	四万十市												
計画の目標	本市においては、発生予測が困難で甚大な被害が想定される「南海トラフ巨大地震」や、頻発する大型台風やゲリラ豪雨による風水害、日常生活において発生しうる火災や救急要請など、規模や頻度の異なる災害への対応が求められている。本計画では、防災拠点施設や耐震性貯水槽、また、避難所への自家発電施設、トイレ対策を行い避難生活空間の確保、さらにそこへ繋がる避難経路を整備することにより、避難対策の充実、強化を進め、災害に強いまちづくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,593	A	1,145	B	190	C	258	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	16.19	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)
1	耐震性貯水槽の整備により、災害時に必要となる飲料水を確保する。 災害時における飲料水確保率 耐震性貯水槽整備による飲料水等確保量/35,000人	57%	76%	84%
2	避難所へ自家発電施設、災害用トイレ等整備を行い、災害時の収容可能人数、避難生活空間を確保する。 災害時における被災者、避難者収容可能率 避難所収容可能人数/6,500人	56%	70%	80%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	四万十市	直接	四万十市	-	-	都市防災総合推進事業(中村地区外11地区)	耐震性貯水槽N=2基、避難路(市道)整備N=3路線、防災広場N=1箇所、防災拠点基地施設N=1箇所等	四万十市						1,145	-	-
		他、防災活動拠点施設N=1箇所、防災備蓄倉庫N=2箇所、災害用マンホールトイレ(下部)N=23箇所、自家発電施設N=41箇所、防災井戸N=44箇所																	
											小計						1,145		
											合計						1,145		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H29	H30	H31	R02	R03					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
市街地整備事業	C13-001	施設整備	一般	四万十市	直接	四万十市	-	-	災害に強いまちづくり事業	給水施設N=1箇所、八束地区 防災拠点基地耐震性給水施設 整備N=1箇所、避難所等安全 対策用品N=1式	四万十市						258		-		
		基幹事業と一体的に実施することで、迅速且つ安全な避難活動と円滑な災害復旧活動、さらに復興体制を確保し、迅速な対応を可能にする。																			
		他、災害用マンホールトイレ（上部）N=23箇所、災害用トイレ（循環型）N=11箇所、災害用ポートN=10台、避難所必需品N=1式																			
											小計						258				
											合計						258				

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 庁内にて事後評価を実施	事後評価の実施時期 令和5年6月
	公表の方法 四万十市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震性貯水槽の整備により、災害時に必要となる飲料水を確保した。 ・避難所へ自家発電施設、災害用トイレ等の整備を行い、災害時収容可能人数、避難生活空間を確保した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も発災時に備え、必要となる飲料水や避難生活空間の充足率100%を目指し、更なる避難対策の充実・強化を図り、災害に強いまちづくりを進めていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	飲料水確保率	
	最終目標値	84%
	最終実績値	84%
2	避難者収容可能率	
	最終目標値	80%
	最終実績値	80%